

## 自己評価報告書

平成 23 年 4 月 19 日現在

機関番号：32702

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008～2012

課題番号：20401013

研究課題名 (和文) ヤオ族の儀礼と儀礼文献の総合的研究

研究課題名 (英文) An integrated study on the rituals and ritual documents of the Yao

研究代表者 廣田 律子 (HIROTA RITSUKO)

神奈川大学・経営学部・教授

研究者番号：70260990

研究分野:民俗学・祭祀芸能

科研費の分科・細目:人文学 B・宗教学

キーワード:宗教学、民俗学、民族学、文化人類学、祭祀儀礼、儀礼文献、伝統文書、道教

## 1. 研究計画の概要

本研究では湖南省藍山県に居住する過山系ヤオ族の伝承する宗教儀礼の中で最上級の通過儀礼である度戒儀礼の総合的な調査研究を行なう。儀礼全体の内容について詳細な記録を残すことは無論だが、中でも儀礼の進行に必要な不可欠な儀礼文献及び文書が儀礼実践の中で、どの段階で、いかなる目的をもって使用されるか、記録することに重点を置く。ヤオ族の儀礼はある意図をもって動作と読誦によって構成され、礼拝する、足のステップを踏む、手の指を組む、符を書く、水を撒く、回転する、供物を捧げるといった動作と、儀礼文献の本文や、常用する曲詞や演劇的科白、その都度神に向かってしたためられる儀礼文書、秘訣の呪文の読誦が同時並行で行なわれる。動作と読誦の両面を空間と時間にわたってしっかりした記録にとどめることによって、今まで充分に行なわれてこなかったヤオ族の儀礼の全容が明らかになり、その上で分析を行なう。還家願儀礼・葬送儀礼・治病儀礼等のその他の儀礼を調査し儀礼全体の理解を深める。

収集した儀礼文献・文書の解読分析を進め、道教儀礼やその他の地域の民間祭祀儀礼等との比較を進め、文献学的儀礼研究と接合を行ない、儀礼史の上に体系的に位置付ける。歴史的な儀礼文献との比較を行なうことは、現代に至る道教儀礼の歴史的変遷をヤオ族の儀礼に通観することになる。さらにヤオ族の文献を収集している国内外の諸機関で資料の閲覧収集を進め、藍山県の文献との比較を行なうことで藍山県の個性と普遍性を明確にする。

## 2. 研究の進捗状況

すでに調査した湖南省藍山県ヤオ族(ユーミン)が実施した度戒儀礼の儀礼内容の分析と合わせ、儀礼で使用された大量の儀礼文献及び文書の録文作成、校訂作業、解読分析、現代語訳を進めた。さらに儀礼の祭司宗教者及び受礼者に対し聞き取り補足調査(2009年8月・2010年5月・8月・11月に実施)を行ない儀礼内容と使用文献及び受礼者の家族親族についての確認作業を行ない儀礼の全容の解明に努めた。また、ヤオ族の関連儀礼文献を収蔵するドイツ バイエルン州立図書館において 250 件の閲覧を行ない、イギリス オ

ックスフォード大学ボードレアン図書館(100件)及び南山大学人類学博物館(130件)でも文献調査を行ない比較分析の材料を収集した。2009年8月中国長沙において湖南省民間文芸家協会の協賛の下「第1回湖南瑶族伝統文化研究会」を開催し中間報告会を行ない、地元研究者との研究交流及び地元への還元を図った。2010年11月に神奈川大学においてドイツ バイエルン州立図書館員、現地中国湖南省の研究者及び伝承者(祭司)を招聘し「ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム」を実施し成果の中間報告会を行なった。日本国内の歴史学、文化人類学はもとより、地理学、言語学等多分野のヤオ族研究者間での活発な研究交流を図った。さらに2011年1月に東京大学で『ラオス北部のランテンヤオ族民間伝統文書の保存・集成・解題』プロジェクト・神奈川大学ヤオ族文化研究所共同研究会を開催しラオスのヤオ族研究者との研究交流をさらに深めた。

なお神奈川大学プロジェクト研究所ヤオ族文化研究所は月に1回程度研究会を開催し、刊行物として『ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム予稿集』及び『瑶族文化研究所通説』2号を刊行し、さらに神奈川大学歴史民俗調査報告等12集「中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告I」でも研究成果の公表に努めた。この際映像資料に字幕を付すことで儀礼で読誦されるテキスト及び呪文を明確化する取り組みをした。儀礼文献・文書及び画像資料のデータ化をさらに進め、ヤオ族文化研究所ウェブサイト(<http://www.yaoken.org/>)で内部公開をしている。

## 3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(理由)

補足調査において従来予定していなかった治病儀礼・葬送儀礼・開光儀礼・発符儀礼等の調査を行なうことができ、度戒儀礼だけでなく儀礼の全体にわたって理解を進めることができるようになった。さらにドイツ バイエルン州立図書館、イギリス オックスフォード大学ボードレアン図書館の資料調査により予想以上の資料を収集でき、比較研究を充実させることができた。さらに東京大学「ラオス北部のランテンヤオ族民間伝統文書の保存・集成・解題」プロジェクトとの共同研究会によって他地域との比較の可能性が出て来た。

#### 4. 今後の研究の推進方策

すでに調査した度戒儀礼の儀礼内容の分析と合わせ儀礼で使用された大量の儀礼文献及び文書の解説分析、翻訳作業を進める。さらに補足調査を行ない充実を図る。収集資料及び分析研究成果はすべてデータベースとして公開する予定であるので、儀礼文献・文書及び画像資料のデータ化を進める。また、ヤオ族の儀礼文献を収蔵する他機関において閲覧を行ない、比較分析の材料とする。研究分担者各自がすでに収集した他地域他民族の儀礼資料との比較研究も行なう。平成23・24年の活動内容を以下にまとめる。

平成 23 年

- (1) 収録した儀礼文献・儀礼画像・文献画像データを現地宗教者の方々に見せ校閲して頂き、補足調査を行なう
- (2) 収集した儀礼文献の解説、現代語訳、分析
- (3) 収集した儀礼資料内容の分析
- (4) 南山大学収蔵上智大学西北タイ歴史文化調査団収集「瑤人文書」の閲覧を行なう
- (5) 藍山県還家願儀礼調査を実施する
- (6) データベース公開のために収集した儀礼文献のデータ化を進める
- (7) 撮影した儀礼映像・画像のデータ化を進める
- (8) 研究会及び国際シンポジウム等の機会に研究成果を公表する

平成 24 年

- (1) 収録した儀礼文献・儀礼画像・文献画像データを現地宗教者の方々に見せ校閲して頂き、補足調査を行なう
- (2) 収集した儀礼文献の解説、現代語訳、分析
- (3) 収集した儀礼資料内容の分析
- (4) 撮影した儀礼映像・画像データの公開を進める
- (5) 儀礼文献データベース公開を進める
- (6) 研究会及び国際シンポジウム等の機会に研究成果を公表する
- (7) 最終報告書を作成する

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 46 件)

- ① 廣田律子、「盤王大歌」—旅する祖先—、万葉古代学研究所年報、9 巻、167-216 頁、2011、査読なし
- ② 松本浩一、「掛三燈」の儀礼、瑶族文化研究所通訊、2 号、6-16 頁、2010、査読なし
- ③ 丸山宏、道壇と神画、アジア遊学、133 巻、132-146 頁、2010、査読なし
- ④ 森由利亜、榜文の翻刻と現代和訳の一例—約束榜—、瑶族文化研究所通訊、2 号、26-28 頁、2010、査読なし
- ⑤ 吉野晃、ユーミエンの儀礼の研究における課題：儀礼の意味と伝承、不易と変差、瑶族文化研究所通訊、2 号、17-18 頁、2010、査読なし

[学会発表] (計 36 件)

- ① 廣田律子、盤王神話研究、比較神話学研究組織 GRMC 研究会、2011 年 3 月 26 日、京都府
- ② 吉野晃、〈掛燈〉の構造と変差：タイ北部・ラオスと中国湖南省藍山県のユーミエンにおける〈掛三台燈〉儀礼の構造と変差に関する比較、「ラオス北部のランテンヤオ族民間伝統文書の保存・集成・解題」プロジェクト

ェクト・神奈川大学ヤオ族文化研究所共同研究会、2011 年 1 月 10 日、東京都

- ③ 張勁松、中国藍山県過山系ヤオ族の度戒儀礼における信仰的意義及び機能、神奈川大学ヤオ族文化研究所『ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム』、2010 年 11 月 23 日、神奈川県横浜市
- ④ 丸山宏、湖南省藍山県ヤオ族の度戒儀礼文書に関する若干の考察、神奈川大学ヤオ族文化研究所『ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム』、2010 年 11 月 23 日、神奈川県横浜市
- ⑤ Lucia Obi、欧米におけるヤオ族写本のコレクション、神奈川大学ヤオ族文化研究所『ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム』、2010 年 11 月 23 日、神奈川県横浜市

[図書] (計 6 件)

- ① 廣田律子、風響社、中国民間祭祀芸能の研究、2011 年、738 頁
- ② 廣田律子、神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科、神奈川大学歴史調査報告第 12 集中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告 I、2011 年、142 頁
- ③ 廣田律子、張勁松、Lucia Obi、趙金付、馮榮軍、三村宜敬、泉水英計、蔡文高、松本浩一、吉野晃、浅野春二、森由利亜、丸山宏、ヤオ族文化研究所、ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム予稿集、2010 年、142 頁
- ④ 廣田律子、張勁松、松本浩一、吉野晃、丸山宏、森由利亜、泉水英計、馮榮軍、三村宜敬、佐川潤子、広川英一郎、内藤久義、譚静、ヤオ族文化研究所、瑶族文化研究所通訊 2 号、2010 年、131 頁
- ⑤ 廣田律子、松本浩一、吉野晃、丸山宏、森由利亜、佐野賢治、泉水英計、高城玲、蔡文高、佐川潤子、李利、広川英一郎、三村宜敬、ヤオ族文化研究所、瑶族文化研究所通訊 1 号、2009 年、80 頁

[産業財産権]

○出願状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ

<http://www.yaoken.org/>